

もりふれ倶楽部通信 NO. 65

NPO 法人もりふれ倶楽部理事 池田 友紀

しまねの“あたりまえ”は“ありえない”？！

大型水鳥が集う島根の自然

みなさん、以下の写真の野鳥をいくつ知っていますか？

				
<ul style="list-style-type: none"> ・島根県：準絶滅危惧種 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境省：準絶滅危惧種 ・島根県：準絶滅危惧種 ・天然記念物 	<ul style="list-style-type: none"> ・IUCN：絶滅危惧Ⅱ類 ・環境省：絶滅危惧Ⅱ類 ・国際希少野生動物種 ・特別天然記念物 	<ul style="list-style-type: none"> ・IUCN：絶滅危惧ⅠB類 ・環境省：絶滅危惧ⅠA類 ・国内希少野生動物種 ・特別天然記念物 	<ul style="list-style-type: none"> ・IUCN：絶滅危惧ⅠB類 ・環境省：絶滅危惧ⅠA類 ・国際保護鳥 ・国内希少野生動物種 ・特別天然記念物
コハクチョウ	マガン	ナベヅル	コウノトリ	トキ

特別天然記念物や絶滅危惧種など、いずれも希少な野鳥たちです。

そしてこの希少な鳥類5種に出会うことができる、日本で唯一と言っても過言ではない地域がある都道府県をご存じでしょうか？ そう、ここ、島根県なのです。

1. どこで出会える？希少な大型水鳥たち

大まかに言うと、島根県東部の出雲市～安来市にかけての斐伊川水系のエリアです。



マガンやコハクチョウは毎年10月～3月ごろに越冬のためにやって来る群れを見ることができます。その時に時おり、ナベヅルなどのツル類も少数ですが立ち寄ったり、迷子の個体(迷鳥と呼ぶ)が越冬したりします。今シーズンも、2021年11月にナベヅルが19羽出雲市で見られた、と報道がありましたね。2020年1月にはタンチョウが1羽斐伊川河口にやってくるなど、驚きの出会いもありました。



斐伊川河口域で見られたタンチョウ (2020/1/30)

コウノトリは2017年以降、雲南市で毎年営巣・繁殖し、近隣の水田や斐伊川で出会う機会が増えました。



商業施設の近くでも見られるコウノトリ

今年(2022年)も雲南市立西小学校の人口巣塔ではコウノトリのペアが巣のメンテナンスやクラッタリング(コウノトリの愛情表現で、上下のくちばしをカタカタカタッ…と叩き合わせて音を鳴らす)をする姿が見られ、繁殖活動を始めています。

トキについては、野生種ではなく飼育個体となりますが、国内でその姿を見ることができる施設は新潟県と島根県のほか、多摩動物公園(東京都)といしかわ動物園(石川県)のみとなります。

2. どうして島根県で大型水鳥がみられるのか?

「ラムサール条約」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。正式名称は「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」といい、湿地の保全と賢明な利用を進めることを目的とした条約です。

世界中で約170の国と地域が締約しており、日本は1980年に加入し、2022年1月現在、全国で53か所の湿地が登録されています。

ここ島根県では宍道湖・中海が 2005 年にラムサール条約に登録され、宍道湖と中海は世界的に大変重要な湿地であると認められたのです。



全国有数の汽水湖（海水と真水がまざりあった塩分の少ない水）であり、斐伊川から栄養分が流れ込むことでプランクトンが増え、それを食べる生物も増加。さらにそれを食べる生物が集まり…と、魚類や貝類、水生植物も含めた多様な生物が連鎖的に集まる宍道湖・中海。

こうした要因によって生きものの多様性が高い湿地であることから、毎年 4 万羽を超えるガンやカモなどの水鳥がやってくるのです。

そして比較的狭い範囲に、湿地や州、半林といったさまざまな環境が集結しているため、水鳥にとって多様な住環境が整っていることと、出雲平野や能義平野に広がる田んぼにガンやハクチョウの食べ物となる落ち穂が豊富なことも理由のひとつとなっています。



落ち穂を食べるコハクチョウ（能義平野）

3. 大型水鳥たちに会いに行こう

私は安来市の能義小学校校区の出身なので、能義平野に毎冬やってくるコハクチョウたちと同じ生活圏内で過ごしました。家からも学校からもコハクチョウの姿が見え、通学路のすぐ横の田んぼにいる群れをごくあたりまえの景色の一部としてとらえておりました。

それが普通の事ではない、と認識したのは大学進学で東京に出てからです。しかも「うそでしょ、ありえない」とまで言われたことすらあります。

地元の人にとっては当たり前の事、見慣れた風景であっても、他方から見ればそれはものすごく珍しくて貴重なことであつたりすることの一例です。



学校周辺に集うコハクチョウとヒシクイ（出雲平野）

大型水鳥が5種同時に、しかも間近で見られる環境が整った島根県は、全国的にも稀な水鳥観察スポットなのです。せっかく貴重な自然環境がすぐ近くにあるのだから、地元の人たちにはぜひ野鳥観察を楽しみ、地域の自然を大いに自慢し、誇りに思ってもらいたいと思います。

この文書を読まれた方、次の休日の過ごし方は決まりです。出雲平野や能義平野に出かけて行ってマガンやコハクチョウに会いに行きましょう♪（3月上旬には北帰行が始まるので、お早めに）

ちなみに出雲市トキ分散飼育センターで一般公開されているトキは、繁殖期が始まるこの時期にしか見られない羽色変化を見ることができますので、こちらにも足を運んでみてください。

野鳥観察のマナー ～マガン・ハクチョウをみる時～

基本、車から降りない

→車だとあまり警戒しないので観察しやすい。窓は開けても大丈夫。

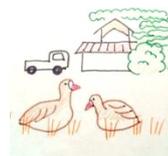


近づきすぎない

→車を真横につけず、50メートルくらい離れた場所から見よう。鳥の多くが首を上げていたら警戒しているので少し離れる。

大きな音をださない

→鳥の気をひこうと大声を出したり、クラクションをならすなど絶対しないこと！



地元の人に迷惑をかけない

→家の前に車を止めたり、双眼鏡を向けたりしないように。「おじゃましています」の心づもりで。

斐伊川水系生態系ネットワークの「愛称」と「シンボルマーク」を決める「投票」のお知らせ

今回ご紹介した大型水鳥も含め、斐伊川流域の自然環境を活かしていこう、という取り組みを行なっている協議会に2県6市2町の対象地域が参加しています。この協議会を皆さんにより身近に感じ、知ってもらいたいという考えから、協議会のわかりやすい「愛称」と「シンボルマーク」を決めることとなりました。

皆さんもぜひ投票にご参加ください。

■投票期間

令和4年1月17日（月）～2月18日（金）

■投票方法

①投票用紙に記入

もりふれ倶楽部事務局（ふるさと森林公園学習展示館内）に専用用紙と応募ボックスが設置してあります。

②投票サイトから投票

以下のQRコードからウェブサイトアクセスし、投票フォームから投票してください。



令和3年度 もいふれ倶楽部の歩み

7月2日（金）緑の少年団出前講座23（佐世小学校）

雲南市立佐世小学校4年生10名に対して「島根の森林の話」「和紙作り」と「川の学習」の指導をおこないました。



7月4日（日）第3回里山自然塾

第3回里山自然塾「人工林からのプレゼントを楽しもう！～スギ和紙の葉、ヒノキの枝でキーホルダー、ドラム缶ピザ」を参加者20名で実施しました。



7月5日（月）出雲西高等学校対応

出雲西高等学校環境福祉コース3年生40名に「人工林の間伐の必要性」の話と「バランストンボづくり」の指導をしました。

7月9日（金）緑の少年団出前講座24（江津東小学校）

江津市立江津東小学校4年生15名に対して「森林保全の話」と「ネイチャーゲーム」の指導をしました。

7月10日（土）第4回ふるさと森林公園自然観察会

ふるさと森林公園において、第4回自然観察会を行いました。この日見られた植物の写真は、学習展示館に展示しています。

7月12日（月）緑の少年団出前講座25（安田小学校）

益田市立安田小学校5年生41名に対して「森林保全の大切さ」の講義をしました。

7月14日（水）みーもスクール 第3回西小学校

雲南市立西小学校4生21名に対して、第3回みーもスクールとして「間伐材の和紙づくり」の指導をしました。



7月16日（金）緑の少年団出前講座26（豊川小学校）

益田市立豊川小学校全校児童29名に対して「森林保全の大切さ」の講義と「木切れ工作」の指導をしました。

7月20日（火）みーもサマースクール

社）出雲スマイル保育園に対して、しまね県民の森において、森と川の自然観察会の指導をしました。

7月21日（水）みーもサマースクール

美郷町粕渕おおち保育園に対して、しまね県民の森において、森の自然観察会の指導をしました。

8月1日（日）第4回里山自然塾

第4回里山自然塾「竹は友達～竹で楽しむ夏休み（竹皿と水鉄砲）」を参加者20名で実施しました。「里山の竹問題」の話聞いた後、竹皿づくりに挑戦してもらい、出来上がった竹皿でカレーライスを食べてもらいました。午後からは、水鉄砲づくりの希望者と竹燈明づくりの希望者にわかれてもらい、作品づくりに挑戦してもらいました。



8月2日（月）みーもサマースクール

出雲市ひかり児童クラブに対して、しまね県民の森において、森と川の自然観察会の指導をしました。

8月4日（水）みーもサマースクール

出雲市なかの保育園に対して、しまね県民の森において、森と川の自然観察会の指導をしました。

8月5日（木）みーもサマースクール

出雲市窪田小児童クラブに対して、しまね県民の森において、森と川の自然観察会の指導をしました。

8月6日（金）島根県立松江農林高校対応

島根県立松江農林高等学校2年生15名に対して、「人工林の間伐の必要性」についての話と「樹木学習」、「伐倒体験」について指導しました。



8月11日（水）さんびるアカデミー学童塾対応

さんびるアカデミー学童塾の児童に対して、ネイチャートレイリングと紙漉きの指導をしました。

8月12日（木）川津地区社会福祉協議会対応

川津地区社会福祉協議会の募集で集まった子供たちに対して、木切れ工作の指導をしました。

8月17日（火）みーもサマースクール

大田市あゆみ放課後児童クラブに対して、しまね県民の森において、森と川の自然観察会の指導をしました。

8月20日（金）みーもサマースクール

松江市八束っ子児童クラブに対して、しまね県民の森において、森と川の自然観察会の指導をしました。

8月21日（土）第5回ふるさと森林公園自然観察会

ふるさと森林公園において、第5回自然観察会を行いました。この日見られた植物の写真は、学習展示館に掲示しています。



8月22日（日）しまね県民の森ふれあい講座

しまね県民の森ふれあい講座「丸太で椅子作り」を県民の森木工室において参加者16名で実施しました。

8月23日（月）みーもサマースクール

出雲市北陽保育園に対し、しまね県民の森において、森と川の自然観察会の指導をしました。

8月26日（木）みーもサマースクール

出雲市えんや保育園に対して、しまね県民の森において、森と川の自然観察会の指導をしました。

8月27日（金）みーもサマースクール

松江市朝酌児童クラブに対して、しまね県民の森において、森と川の自然観察会の指導をしました。



9月7日（火）みーもスクール 第1回高山小学校

太田市立高山小学校1・2年生8名に対して、第1回みーもスクールとして「森の探検」と「森の美術館」の指導をしました。学校林へ行き、林内を散策しながらビンゴゲームを使って、植物について学んでもらい、採取した自然物を使って作品を作ってもらいました。その作品を撮影して映写会を行いました。

9月9日（木）緑の少年団出前講座27（稗原小学校）

出雲立市稗原小学校4年生14名に対して「島根の森林概要と人工林の保全の必要性について」の話と「川の学習」の指導をしました。



9月11日（土）第6回ふるさと森林公園自然観察会

ふるさと森林公園において、第6回大人のための自然観察会を行いました。この日見られた植物の写真は、学習展示館に掲示しています。

9月11日（土）川本町チェーンソー研修

川本町主催「伐木・造木・集材研修」で伐倒・玉切り・目立てとチェーンソーワークの基礎研修の指導をしました



9月12日（日）第5回里山自然塾

第5回里山自然塾「里山派、バンダナづくり～手入れされた里山林の恵み」を参加者20名で実施しました。染液に使用する材料についての説明を行い、色見本を染めてもらいました。染まった色見本をみて染めたい色を選び、上位2色を決定しヤマモモの皮とビワの葉で染めてもらいました。



9月13日（月）島根県立松江農林高等学校対応

島根県立松江農林高等学校総合学科3年生「特用林産専攻」6名に対して、楽山公園で「竹の利用と竹の保全の必要性について」の講義と「木切れ工作」「ネイチャーゲーム」の指導をしました。



9月16日（木）安来市立赤屋小学校対応

安来市立赤屋小学校1・2年生3名に対して「竹ぽっくりづくり」の指導をしました。



9月16日（木）島根県立出雲商業高等学校対応

島根県立出雲商業高等学校3年生に対して「島根の森林・林業と森林保全の大切さ」の講義と「樹木学習」を指導しました。

9月18日（土）第1回里山生活塾

島根県立ふるさと森林公園において「里山生活塾」の第1回「初心者やはじめての方向けの刈り払い機実践講座」を開催しました。



9月19日（日）第2回里山生活塾

島根県立ふるさと森林公園において、「里山生活塾」第2回「目立てからはじめるチェーンソー実践講座 初めの方も大歓迎」を開催しました。



9月20日（月・祝）第3回里山生活塾

令和3年度島根県緑の募金公募事業として、島根県立ふるさと森林公園において「里山生活塾」第3回「木を安全に無理なく切るためのチェーンソー講座」を開催しました。



9月21日（火）出雲西高等学校対応

出雲西高等学校環境福祉コース2年生30名に森の環境講座として「世界と島根の森林」の講義と体験学習として「森の美術館」の指導をしました。

9月22日（水）緑の少年団出前講座29（中西小学校）

益田市立中西小学校1・2年生25名に対して1年生には「森の美術館」、2年生には「木切れ工作」と「森の美術館」の指導をしました。



9月24日（金）緑の少年団出前講座30（古江小学校）

松江市立古江小学校特別支援学級4名と5年生39名に対して、特別支援学級生徒には「木切れ工作」5年生には「森森林保全のお話と和紙作り」の指導をしました。

9月24日（金）飯南町立来島小学校対応

飯南町立来島小学校1・2年生10名に対して、「森の美術館」の指導をしました。

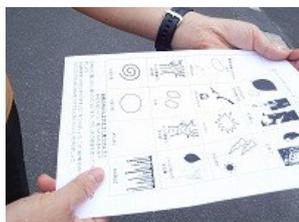


9月26日（日）樹木医による樹木診断研修

楽山公園において「樹木医による樹木診断研修会」を島根県樹木医会の方の指導で行いました。参加者の皆さんは楽山公園を散策しながら、講師の樹木医から樹木診断法や樹勢回復方法を学びました。

9月27日（月）緑の少年団出前講座31（朝酌小学校）

松江市立朝酌小学校6年生20名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「樹木観察」の指導をしました。



9月27日（月）緑の少年団出前講座32（頓原小学校）

飯南町立頓原小学校5年生11名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「木切れ工作」「ネイチャーゲームフィールドビンゴ」の指導をしました。



9月29日(水) みーもスクール 第1回布部小学校

安来市立布部小学校3・4年生5名に対して、第1回みーもスクール「学校林内の竹藪見学」と「竹で米粉ケーキ作り」の指導をしました。学校林の竹や木々の状況を説明後、竹の伐採の体験をしてもらいました。



9月30日(木) 緑の少年団出前講座33(上津小学校)

出雲市立上津小学校3, 4年生13名に対して「森林保全」の話と「ネイチャーゲーム」の指導をしました。

10月2日(土) 森林ボランティア(楽山公園)

「1日限りの作業班」シリーズの一環として、松江市楽山公園の竹藪の整備をしました。

10月4日(月) 緑の少年団出前講座34(八川小学校)

奥出雲町立八川小学校5, 6年生14名に対して、「森林保全」の話と「飾り炭」の指導をしました。



10月5日(火) 緑の少年団出前講座35(荘原小学校)

出雲市立荘原小学校4年生58名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「和紙作り」・「木切れ工作」の指導をしました。

10月6日(水) 緑の少年団出前講座36(桜江小学校)

江津市立桜江小学校4年生21名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と、「飾り炭」の指導をしました。

10月7日(木) みーもスクール 第2回布部小学校

安来市立布部小学校1・2年生7名に対して、第2回みーもスクールとして「葉っぱ調べと葉っぱのスタンドグラス」の指導をしました。



10月8日(金) 緑の少年団出前講座37(窪田小学校)

出雲市立窪田小学校3, 4年生15名に、「森林保全の大切さ」の話と「木切れ工作」の指導をしました。

10月9日(土) 第6回ふるさと森林公園自然観察会

ふるさと森林公園において、第6回自然観察会を行いました。この日見られた植物の写真は、学習展示館に掲示しています。



10月10日(日) 第6回里山自然塾

第6回里山自然塾「自然のキノコ大発見～キノコの見分け方実践講座」を参加者20名で実施しました。園内にあるキノコを散策しながら採取し、3人の専門家から鑑定のポイントを学び、食べられるキノコはキノコ汁でおいしくいただきました。また、クヌギの伐倒体験もしました。

10月12日(火) 出雲西高等学校対応

出雲西高等学校2年生に「林業体験研修」として高性能林業機械見学と「間伐体験」「チェンソー丸太切り体験」「ロープウインチ集材体験」の指導をしました。



10月13日(水) 島根県立宍道高等学校対応

島根県立宍道高等学校生徒に対し「間伐の大切さ」の話と「ネイチャーゲーム」の指導をしました。

10月15日(金) 緑の少年団出前講座38(鹿島中学校)

松江市立鹿島中学校1年生57名に対して、「森林保全の大切さ」の話と「和紙作り」の指導をしました。



10月16日(土) 里山生活塾 現地編 第1回

「里山生活塾」現地編 第1回「秋の恵みを採りに出かける」を開催しました。佐田町吉野の山林において、森林インストラクターの案内でキノコの採取をしてもらい、鑑定後、キノコ料理をおいしく頂きました。



10月17日(日) 里山生活塾 現地編 第2回

「里山生活塾」現地編 第2回「広葉樹伐倒とナメコ生産」を開催しました。シイタケ原木として活用される広葉樹を安全に伐倒する方法を学び、伐倒した原木の一部でナメコの植菌の指導をしました。



10月18日(月) みーもスクール 第2回高山小学校

大田市立高山小学校3・4年生12名に対して、第2回みーもスクールとして「竹藪の観察と竹」の話と「竹を使った米粉ケーキ作り」の指導をしました。

10月20日(水) 島根県立出雲農林高等学校対応

島根県立出雲農林高等学校生徒に対し「林業体験研修」として高性能林業機械見学と「間伐体験」「チェーンソー丸太切り体験」「ロープウインチ集材体験」の指導をしました。



10月21日(木) 緑の少年団出前講座39(仁摩小学校)

大田市立仁摩小学校1年生26名に対して、「森を知ろう」の話と「樹木観察」、2年生23名に対して「森を知ろう」の話と「木切れ工作」の指導をしました。

10月22日(金) 緑の少年団出前講座40(西ノ島小学校)

西ノ島町立西ノ島小学校4年生17名に対して「森林保全」の講義と「和紙作り」の指導をしました。

10月22日(金) 江津市立江津東小学校対応

江津市立江津東小学校4年生13名に対して「樹木観察」の指導をしました。4年生13名が3チームに分かれて、森林インストラクターの指導で学校林内にある樹木の観察をしました。



10月23日(土) 島根県自然環境課対応

島根県自然環境課主催で「里山の樹木を巡るネイチャーゲームと美しいモウソウダケの灯明づくり」の指導をしました。参加者は島根県自然環境課から生物多様性の話を聞きました。その後ネイチャートレイリングのやり方の説明を受け、ネイチャートレイリングコースへ出発し、コース内の問題を解きながら散策を楽しみました。そして、モウソウダケの灯明づくりに取り組みました。



10月24日(日) 松江市楽山公園再生イベント

普及啓発イベント「楽山公園秋の自然観察会と竹食器」を参加者35名で実施しました。



10月25日(月) 島根県立松江農林高等学校対応

島根県立松江農林高等学校3年生に対して、竹の2回目として「竹林整備と竹の利用法」の話と「竹筒ごはんづくり」の指導をしました。

10月26日(火) 安来市立赤屋小学校対応

安来市立赤屋小学校3・4年生12に対して「竹についての話」「竹林整備体験」と「竹焼き米粉ケーキ体験」の指導をしました。



10月27日(水) みーもスクール 第2回布部小学校

安来市立布部小学校3・4生5名に対して、第2回みーもスクールとして「人工林の話」と「和紙作り体験」の指導をしました。

10月28日(木) えんや保育園対応

えんや保育園園児に対し「ネイチャーゲーム」「森の美術館」と「森のお話」の指導をしました。

10月28日(木) 緑の少年団出前講座41(静間小学校)

大田市立静間小学校1・2年生には「森についてのお話」の講義と「木切れ工作」3・4年生には「森林保全の大切さ」の講義と「ネイチャーゲーム」の指導をしました。



10月29日（金）安来市立赤屋小学校対応

安来市立赤屋小学校1・2年生3名に対して「小枝を使ったゲームづくり」の指導をしました。

10月29日（金）みーもスクール 第5回西小学校

雲南市立西小学校4年生21名に対し、第5回みーもスクールとして「森の大切さ」の話と「焼き芋」、「飾り炭作り」の指導をしました。



11月1日（月）2日（火）出雲西高等学校対応

出雲西高等学校3年生36名と2年生29名に「林業体験研修」として「枝打ち」の指導を行いました。

11月5日（金）海士町立福井小学校対応

海士町立福井小学校5・6年生16名に対して「原木シイタケ植菌・伏せこみ」の指導と響繁則氏の循環型農林業の取りくみの話をしました。



11月6日（土）出雲西高等学校インターアクト対応

出雲市佐田町吉野の山林において出雲西高等学校インターアクトクラブ生徒に対して「枝打ち体験」と「植栽体験」の指導をしました。森林インストラクターの枝打ちの実演後、安全ベルトの装着方法、梯子の上り方、そして鋸を使っての枝切りの指導をし、実際に木に登り枝打ちを行った後、ウリハダカエデとヤマザクラを植えました。

11月7日（日）うぐいす山へGO!

出雲郷保育園親子活動「うぐいす山へGO!」に対して、「うぐいす山散策」の指導をしました。出雲郷保育園と幼稚園の年長児とその家族に対して、うぐいす山と園庭で自然に触れてもらい、また自然物を使って遊んでもらいました。



11月8日（月）緑の少年団出前講座42（八雲中学校）

松江市立八雲中学校1年生57名に対して「森林保全の大切さ」の講義を行いました。



11月9日（火）緑の少年団出前講座43（宍道小学校）

松江市立宍道小学校4年生32名に対して、「森林保全の話」と「ネイチャーゲーム」の指導をしました。島根県の森林の概要の話や森の名手・名人の響繁則氏のシイタケ作りを通して森の循環活用と森を守ることの必要性について、話をした後、フィールドビンゴゲームや聞こえてきた音を絵で表現するネイチャーゲームを行いました。

11月12日（金）松江市立母衣小学校対応

松江市立母衣小学校5年生79名に対し、「森林教室」として「ネイチャートレイリング・樹木学習」と「シイタケ生産現場」の見学及び「間伐体験」を2班に分かれ、午前と午後の体験メニュー・実施場所を入れ替えて実施しました。



11月13日（土）第7回ふるさと森林公園自然観察会

ふるさと森林公園において、第7回ふるさと森林公園自然観察会を行いました。この日見られた植物の写真は、学習展示館に掲示しています。



11月15日（月）みーもスクール 第3回高山小学校

大田市立高山小学校5・6年生14名に対し、第3回みーもスクールとして「森林についてのまとめ」の話と「間伐体験」、「間伐材の和紙づくり」の指導を行いました。

1 1月16日（火）安来市立赤屋小学校対応

安来市立赤屋小学校5・6年生に対して「人工林の話」と「間伐体験」、「丸太椅子作り体験」の指導を行いました。



1 1月17日（水）飯南町立来島小学校対応

飯南町立来島小学校1・2年生10名に対して「おちばであそぼう」の指導を行いました。

1 1月18日（木）まつえ市民大学対応

まつえ市民大学受講生に対して「自然素材のリースづくり」の指導を行いました。クズの蔓を適当な大きさの輪にし、周りにヒノキを飾って止め、サルトリイバラやまつぼっくりなど自然物の果実を飾り付けてもらいました。



1 1月19日（金）飯南町立来島小学校対応

飯南町立来島小学校3・4年生15名に対して「学校林を活用した森林環境教育促進事業」として、「竹について」「雑木林と人との関り」の話の後「竹釜づくり」と「木切れ工作」の指導を行いました。



1 1月20日（土）第4回里山生活塾

島根県立ふるさと森林公園「里山生活塾」第4回「薪づくり講座」を開催しました。



1 1月21日（日）しまね県民の森ふれあい講座

しまね県民の森ふれあい講座「煙とおき火の～簡易くん製・棒焼きパン～」を県民の森木工室において、参加者20名で実施しました。

1 1月23日（祝・火）第5回里山生活塾

島根県立ふるさと森林公園「里山生活塾」第5回「経験者が語る山林の購入方法と注意点」を開催しました。



1 1月24日（水）緑の少年団出前講座44（川本小学校）

川本町立川本小学校5年生17名に対して、「森林保全の話」と「森林体験」の指導をしました。



1 1月27日（土）第6回里山生活塾

島根県立ふるさと森林公園「里山生活塾」第6回「里山の果実柚でジャムと簡易柚味噌づくり」を開催しました。



1 1月28日（日）第7回里山自然塾

島根県主催の第7回里山自然塾「名人に教わる里山のキノコ講座～シイタケ・ナメコ編」を参加者20名で実施しました。里山で作られるシイタケとナメコの作り方を学び、植菌しました。また、シイタケ生産が森に与える良い効果の話と薪割にも挑戦しました。



1 1月29日（月）緑の少年団出前講座45（湖陵小学校）

出雲市立湖陵小学校3年生48名に対して、「森林保全の大切さ」の話と「木切れ工作」の指導を行いました。



1 2月1日（水）緑の少年団出前講座46（都万中学校）

隠岐の島町立都万中学校生徒30名に対して、「森林保全の話」と「木切れ工作」の指導を行いました。

1 2月2日（木）緑の少年団出前講座47（五十猛小学校）

大田市立五十猛小学校4年生15名に対して「森林保全の話」と「ネイチャーゲーム」の指導、5、6年生18名に対して「森林保全の話」と「和紙作り」の指導を行いました。

1 2月5日（日）里山生活塾 現地編 第4回

「里山生活塾」現地編 第4回「原木シイタケの生産」を開催しました

1 2月7日（火）大田市立高山小学校対応

大田市立高山小学校児童に対して、植樹の指導を行いました。



1 2月11日（土）第8回ふるさと森林公園自然観察会

ふるさと森林公園において、第8回自然観察会を行いました。この日見られた植物の写真は、学習展示館に掲示しています。

1 2月12日（日）第8回里山自然塾

第8回里山自然塾「里山素材のリース講座～ツル植物・木の実・間伐ヒノキの葉等活用」を参加者20名で実施しました。外へ出かけ、リース作りの材料となるツルや木の実などを採取し、そして採取したツルでリースの輪を作り、各自採取した材料と事前に準備してある材料を組み合わせるリースを作りました。

1 2月13日（月）島根県立出雲農林高等学校対応

島根県立出雲農林高等学校1年生31名に対し、世界と島根県の森林の概要と響繁則氏のシイタケ作りおよび循環型農林業の実践の話を通して、「森林保全」についての講義をし、シイタケの植菌の方法と植菌した椀木の保管方法のらち伏せの仕方を指導しました。



もりふれ倶楽部今後の予定2022 2～3月

2月23日（祝・水）9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

自然観察会（自然を撮ろう！カメラを持って集まろう！）。植物を学びたい方も是非。

森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

☆参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め
前日正午まで申し込みをお受けします。

3月19日（土）9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

自然観察会（自然を撮ろう！カメラを持って集まろう！）。植物を学びたい方も是非。

森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

☆参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め
前日正午まで申し込みをお受けします。

3月21日（祝・月）10時～15時 里山生活塾「現地編」春の山菜教室

特別講師に津島辰雄氏を迎えて行います！

☆参加者募集中：参加費1,000円（昼食付） 定員10名（申し込み順）
集合：雲南市掛合町波多交流センター9時50分集合

もりふれ倶楽部会報 NO. 65

〒699-0406 松江市宍道町佐々布3352

ふるさと森林公園学習展示館内 もりふれ倶楽部

TEL(0852)66-3586 FAX(0852)66-3586

メール morifure@coffee.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.morifure.jp/>